

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-70203

(43)公開日 平成11年(1999)3月16日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>

識別記号

F I

A 6 3 B 57/00

A 6 3 B 57/00

Z

A 4 6 B 3/08

A 4 6 B 3/08

A 4 7 L 25/00

A 4 7 L 25/00

Z

A 6 3 B 53/00

A 6 3 B 53/00

C

// B 0 8 B 1/00

B 0 8 B 1/00

審査請求 未請求 請求項の数6 OL (全 5 頁)

(21)出願番号 特願平10-120593

(22)出願日 平成10年(1998)4月30日

(31)優先権主張番号 特願平9-165641

(32)優先日 平9(1997)6月23日

(33)優先権主張国 日本(J P)

(71)出願人 391025257

パーフェクト商事株式会社

大阪府羽曳野市河原城12番地の8

(72)発明者 ▲桑▼原 清

藤井寺市梅が園町19番33号

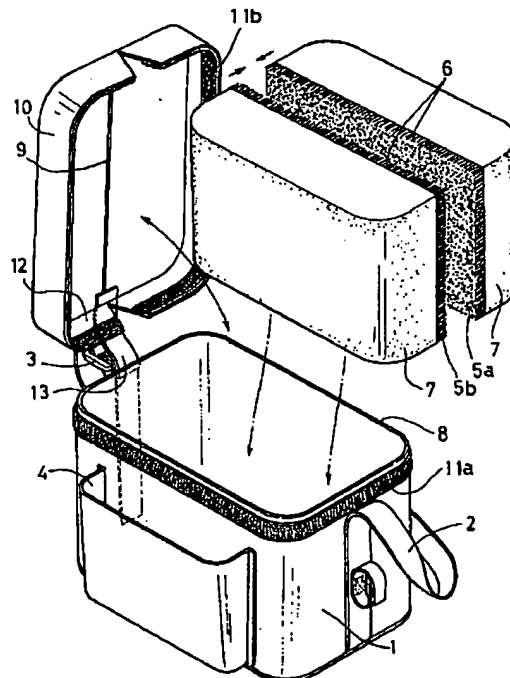
(74)代理人 弁理士 鎌田 文二 (外2名)

(54)【発明の名称】 ゴルフクラブ洗浄具

(57)【要約】

【課題】 クラブヘッドにこびり着いた土などを簡単、かつ確実に洗浄し、ゴルフクラブカーが揺れても水が溢れ出ることのないゴルフクラブ洗浄具を提供する。

【解決手段】 バケツ1には、二個の植毛ブラシ5a、5bが、その毛先面6を垂直にして対向させ、その背面にスポンジ7をあてがって取り出し可能に収納されている。バケツ1の開口部8には、長手方向に重ね合わせ部9を設けた蓋体10が取り外し可能に被せられ、ループファスナー11a、11bで不用意に外れないようにしている。クラブヘッドの洗浄は、重ね合わせ部9から差し込み上下動すると水を含んだ植毛ブラシ5a、5bにより洗浄される。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 上部を開口したバケツと、このバケツ内に、二個のブラシをその洗浄作用面を垂直にし対向させて取り出し可能に収納してなるゴルフクラブ洗浄具。

【請求項2】 上記バケツ内に収納された二個のブラシが、多孔弾性体のブラシからなる請求項1に記載のゴルフクラブ洗浄具。

【請求項3】 上記多孔弾性体の垂直対向面のそれぞれに、透水可能な植毛ブラシの毛先が向き合うように配置してなる請求項2に記載のゴルフクラブ洗浄具。

【請求項4】 上記多孔弾性体の上面、垂直対向面および下面を植毛ブラシによって連続的に覆い、上記植毛ブラシの両端に上記多孔弾性体の背面に沿って帯紐を懸け渡してなる請求項3に記載のゴルフクラブ洗浄具。

【請求項5】 上記バケツの開口部に重ね合わせ目を設けた蓋を、上記重ね合わせ目とブラシの洗浄作用面が一致するように取り外し可能に被せてなる請求項1乃至4のいずれかに記載のゴルフクラブ洗浄具。

【請求項6】 上記ブラシを構成する多孔弾性体が、通気・通水性のある布状物によって保護されてなる請求項1乃至5のいずれかに記載のゴルフクラブ洗浄具。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、クラブヘッドにこびり着いた土等を確実に洗い落とし得るゴルフクラブ洗浄具に関する。

【0002】

【従来の技術】ゴルフプレーヤーがコースに出てプレーをするとき、大地を叩いてクラブヘッドに土がこびり着いてしまうことがしばしば発生する。一般的にゴルフ場は、山間丘陵地帯を開発されたものが多く、その土壌は粘土質が多い。一方、クラブフェイスには、飛距離を伸ばしたり球すじをコントロールし易くするために、独特のパターンが刻まれ、これに粘土質の土がこびり着くと取り除くことが極めて困難である。従ってウエス等で拭き取る程度では十分に取り除くことができず、図7に示すようにゴルフクラブカー14'にクラブヘッドの洗浄用バケツ1'を積み込み、これによってクラブヘッドを洗浄するようにしていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上記従来のゴルフクラブ洗浄手段では、クラブヘッドにこびり着いた土を十分洗い落とすことができず、また、バケツ1'には上部開口に水返し片20を設けて水が溢れ出ないようにしているものの、ゴルフクラブカー14'が大きく揺れると水返し片20を越えて溢れ出してしまうなどの問題をもっていた。

【0004】上記問題に鑑みこの発明は、ゴルフクラブにこびり着いた土などを簡単、かつ確実に除去し、か

つ、ゴルフクラブカーが少々揺れたとしてもバケツ内の水が溢れ出ることがないゴルフクラブ洗浄具を提供しようとするものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するために請求項1の発明は、上部を開口したバケツと、このバケツ内に、二個のブラシをその洗浄作用面を垂直にし対向させて取り出し可能に収納してなる構成を採用したものである。

【0006】請求項2の発明は、上記バケツ内に収納された二個のブラシが、多孔弾性体のブラシからなる構成としたものである。

【0007】上記の如く構成するこれらの発明にあっては、水を含んだブラシがクラブヘッドにこびり着いた土等を完全に洗い落とし、バケツに入れられた水は、バケツ内に収納されたブラシ（多孔弾性体を含む）に吸い取られた状態になってゴルフクラブカーが少々揺れても溢れ出ることがない。また、使用後はバケツからブラシを取り出して内部に溜まった土等を洗い落とすことが容易である。

【0008】請求項3の発明は、上記バケツ内に収納された二個のブラシが、透水可能な植毛ブラシの毛先面を垂直にして対向させ、その背面に多孔弾性体をあてがってなる構成としたものである。

【0009】上記の如く構成するこの発明にあっては、植毛ブラシの擦取力と、その背面にあてがわれた多孔弾性体からの水分供給、さらには多孔弾性体の復元力により植毛ブラシをバックアップされるので洗浄効果を一層向上する。

【0010】請求項4の発明は、上記多孔弾性体の上面、垂直対向面および下面を植毛ブラシによって連続的に覆い、上記植毛ブラシの両端に上記多孔弾性体の背面に沿って帯紐を懸け渡してなる構成を採用したものである。

【0011】上記の如く構成するこの発明にあっては、植毛ブラシの対向面の上端と下端が曲面になっているため、クラブの差し込み及び引き抜きがスムーズになり、効果的にクラブの洗浄を行うことができる。また、多孔弾性体の背面に帯紐を懸け渡しているため、クラブの差し込み、引き抜き時の抵抗によって植毛ブラシが、多孔弾性体の表面にそって回ることがない。

【0012】請求項5の発明は、上記バケツの開口部に重ね合わせ目を設けた蓋を、上記重ね合わせ目とブラシの洗浄作用面が一致するように取り外し可能に被せてなる構成を採用したものである。

【0013】上記の如く構成するこの発明にあっては、重ね合わせ部を有する蓋体をバケツ上部の開口部に被せることによって、ゴルフクラブの洗浄動作が影響されることなく、ゴルフクラブカーの揺れによる水の溢れだしを完全に抑えることができるようになる。

【0014】請求項6の発明は、上記ブラシを構成する多孔弾性体が、通気・通水性のある布状物によって保護されてなる構成を採用したものである。

【0015】上記の如く構成する発明にあつては、多孔弾性体が保護されて、長期間の使用に耐えることができる。

【0016】

【発明の実施の形態】次に、この発明の実施形態について図1乃至図4を参照して説明する。図1において、防水布を素材とするバケット1には、その前後面に掛けてベルト2が掛け渡され、その途中には長さ調整用のバックル3が取り付けられ、側面には、クラブヘッドを拭くためのウエス等を収納するポケット4が設けられている。バケット1の内部には、二個の透水可能な植毛ブラシ5a、5bが、その毛先面6を垂直にして対向させ、その背面に多孔弾性体7（以下、単にスポンジという）をあてがって取り出し可能に収納されている。

【0017】バケット1の開口部8には、長手方向に重ね合わせ部9を設けた蓋体10が取り外し可能に被せられている。バケット1の開口部8外周縁には、ループファスナー11aが縫い付けられ、蓋体10の周縁内側12にもループファスナー11bが縫い付けられていてバケット1の開口部8に被せた蓋体10が不用意に外れないようにしている。上記ベルト2が掛け渡された位置の、バケット1と蓋体10との間には連結帯13が掛け渡されて、バケット1から蓋体10が離れないようにしている。

【0018】ここで、バケット1の素材を防水布を採用しているが、他の材料を採用することができ、モールド成形で構成することもできる。ただ、モールド成形を採用した場合、蓋体の重ね合わせ部は可撓性シート材料を採用してクラブヘッドを押し込んだとき重ね合わせ部が開くようにする必要がある。また、上記スポンジ7は、連続気泡のものを採用することが好ましく、スポンジを保護し、ブラシへの水の供給並びにバックアップを効果的にするために通気・通水性のあるシートまたは織布・不織布などで被覆し保護することが望ましい。

【0019】また、上記実施形態では、洗浄作用面のみに透水可能な植毛ブラシ5a、5bを配置しているが、図2に示すようにスポンジ7の上面、垂直対向面および下面に亘って連続的に配置し、植毛ブラシ5a、5bの両端に、スポンジ7の背面に沿って帯紐19を懸け渡すと植毛ブラシ5a、5bの上端と下端が曲面を形成してクラブヘッドの抜き差しがスムーズになって効果的に洗浄を行うことができ、クラブの差し込み・引き抜き時の抵抗によって植毛ブラシ5a、5bが、スポンジ7の表面に沿って回ることがない。また、全体をスポンジブラシとすることもでき、さらに、重ね合わせ部を有する蓋体を省略して簡易ゴルフクラブ洗浄具として使用することもできる。

【0020】次に、このゴルフクラブ洗浄具の取扱いについて図4および図6により説明する。プレーする前に、バケット1内に水を入れ、開口部8に蓋体10を被せループファスナー11a、11bで固定し、この状態のバケット1をゴルフクラブカー14の後部に用意された載せ台15に載せ、締結帯16を側柵17に巻き付けて落下しないように固定する。

【0021】プレー中にクラブヘッドを洗浄するときは、クラブヘッド18を蓋体10の重ね合わせ部9からバケット1内に押し込むと重ね合わせ部9はクラブヘッド18により押し広げられ、二個の植毛ブラシ5a、5bの毛先対向部に入る。この状態でクラブヘッド18を上下動すると、植毛ブラシ5a、5bには水分が供給されているのでクラブヘッド18にこびり付いた土などが洗い落とされる。クラブヘッド18をバケット1の蓋体10から抜き取ると、蓋体10の重ね合わせ部9は元の状態に戻ってバケット1の開口部8を完全に蓋した状態になり、ゴルフカートが少々揺れてもバケット内の水が溢れ出ることがない。

【0022】プレー終了後は、バケット1から蓋体10を外し、バケット1内に嵌め込まれた植毛ブラシ5a、5bおよびスポンジ7を取り出し全体を洗浄・乾燥して次のプレーヤーの使用に備える。

【0023】

【発明の効果】以上説明した如くこの発明によれば、クラブヘッドにこびり着いた土等は水を含んだブラシによって完全に洗い落とされ、バケットに入れられた水は、多孔弾性体を含むブラシに吸い込まれ、重ね合わせ部を有する蓋体が被せられることによって溢水を完全に抑えることができる。また、使用後はバケットからブラシを取り出すことにより、内部に溜まった土等を簡単に洗い落とすことができる。

【0024】特に、植毛ブラシと多孔弾性体とを組み合わせさせてブラシを構成したものは、植毛ブラシの擦取力と、その背面にあてがわれた多孔弾性体によるバックアップと水分供給により洗浄効果が一層向上する。また、透水性植毛ブラシをスポンジの上面、垂直対向面および下面に亘って連続的に配置すると植毛ブラシの上端と下端が曲面を形成してクラブヘッドの抜き差しがスムーズになって効果的に洗浄を行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明に係る実施形態の内容物を取り出した状態の斜視図

【図2】植毛ブラシの別の配置例を示す斜視図

【図3】実施形態の斜視図

【図4】実施形態の（a）部分平面図、（b）一部切欠正面図

【図5】ゴルフクラブカーの斜視図

【図6】取扱い説明図

【図7】従来例の説明図

5

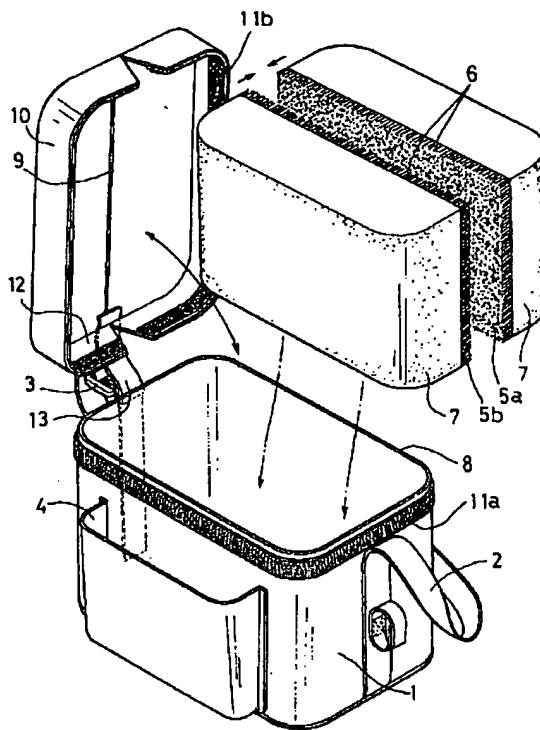
6

## 【符号の説明】

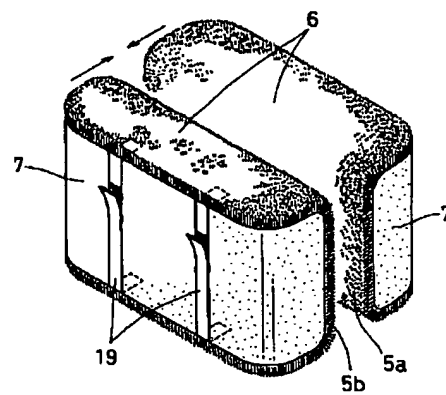
- 1 バケット
- 2 ベルト
- 3 バックル
- 4 ポケット
- 5 a, 5 b 植毛ブラシ
- 6 毛先面
- 7 多孔弾性体 (スポンジ)
- 8 開口部
- 9 重ね合わせ部

- 10 蓋体
- 11 a, 11 b ループファスナー
- 12 周縁内側 (蓋体の)
- 13 連結帯
- 14 ゴルフクラブカー
- 15 載せ台
- 16 締結帯
- 17 側柵
- 18 クラブヘッド
- 10 19 帯紐

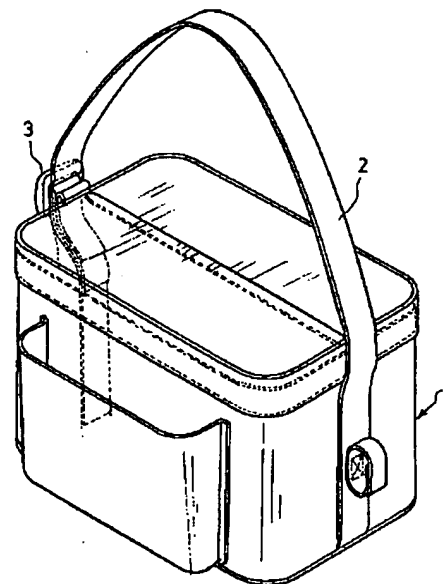
【図1】



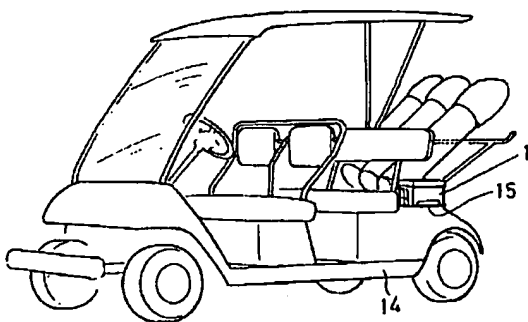
【図2】



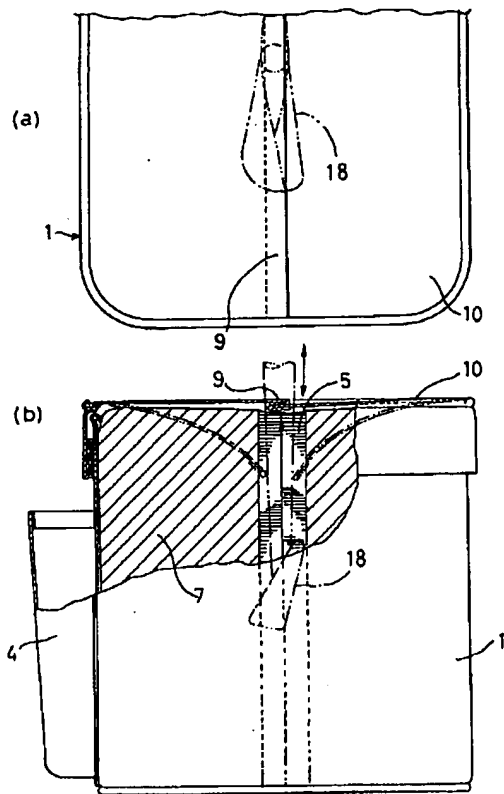
【図3】



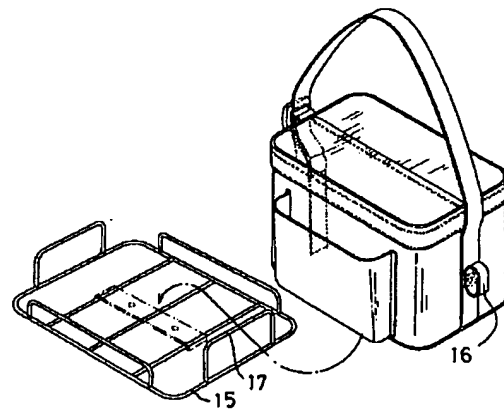
【図5】



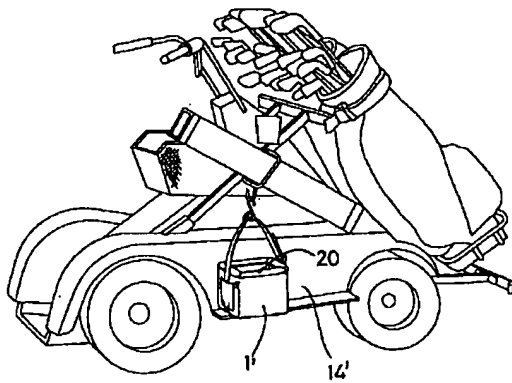
【図4】



【図6】



【図7】



DERWENT-ACC-NO: 1999-247608

DERWENT-WEEK: 199921

COPYRIGHT 2006 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Golf club cleaning tool - has brush provided  
on sponge accommodated inside bucket, such that golf club  
is cleaned when golf club is inserted into  
overlapping section of cover and then pushed in and pulled  
out between brushes

PATENT-ASSIGNEE: PERFECT KOJI KK[PERFN]

PRIORITY-DATA: 1997JP-0165641 (June 23, 1997)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE
PAGES MAIN-IPC		
JP 11070203 A	March 16, 1999	N/A
005 A63B 057/00		

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
APPL-DATE		
JP 11070203A	N/A	1998JP-0120593
April 30, 1998		

INT-CL (IPC): A46B003/08, A47L025/00 , A63B053/00 , A63B057/00 ,  
B08B001/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 11070203A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - A brush (5a,5b), containing water, is provided on two  
separate  
sponges (7) that can be accommodated inside a bucket (1). A cover  
(10) for the  
opening (8) of the bucket is held by the loop fasteners (11a,11b).  
The gold  
club is cleaned by inserting it between the brushes through the  
overlapping  
section (9) formed on the cover.

USE - None given.

ADVANTAGE - Ensures complete washing out of soil adhering on golf club through the brushes accommodated inside the bucket. Prevents flooding by providing sponge inside the bucket. DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the isometric view of the golf club cleaning tool. (1) Bucket; (5a,5b) Brush; (7) Sponges; (8) Opening; (9) Overlapping section; (10) Cover; (11a,11b) Loop fasteners.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/6

TITLE-TERMS: GOLF CLUB CLEAN TOOL BRUSH SPONGE ACCOMMODATE BUCKET  
GOLF CLUB  
CLEAN GOLF CLUB INSERT OVERLAP SECTION COVER PUSH PULL  
BRUSH

DERWENT-CLASS: P24 P28 P36 P43

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1999-184561